

女性のための漢方のポータルサイト

Kampo view

スマートフォンで
いつでもどこでも
気軽にチェック!

漢方を学んで、
ココロとカラダを
健康に。

携帯電話はこちら

www.kampo-view.com/

www.kampo-view.com 漢方ビュー

運営: 漢方ビュー事務局 / 協賛: 株式会社ツムラ



Bayer HealthCare

早く治ってほしいという
願いを、チカラに。

未だ適切な治療法が確立していない疾病の数は
2万以上とも言われています。
さらに、治療は可能でも早期に診断がつきにくい、
治療や検査が決して楽ではない、一般に理解されにくいなど、
医療分野にはまだ満たされていないニーズがあります。
私たちバイエル薬品は、「早く治ってほしい」という
強い思いを原動力として、
さまざまなニーズに応えていきます。
よりよい暮らしのために、これからもずっと。

Science For A Better Life
よりよい暮らしのためのサイエンス

http://byl.bayer.co.jp/

バイエル薬品株式会社

目の前のあなたのために。
世界のみんなのために。

一人を愛する気持ちで、世界も愛したい。そして田辺三菱製薬は、国際製薬企業へ。

田辺三菱製薬
http://www.mt-pharma.co.jp

疾患別にみる医薬品

日本の失明原因			
1位	緑内障	20.7%	40歳以上では20人に1人
2位	糖尿病網膜症	19.1%	糖尿病患者の約20%
3位	網膜色素変性症	13.7%	4,000~8,000人に1人
4位	加齢黄斑変性症	9.1%	50代以降に発症。 60~70代(特に男性)に多い
5位	高度近視	7.8%	40歳以上で 近視が強い人は要注意
6位	白内障	3.8%	早い人では40代から。 80代になるとほとんどの人に

(日本眼科医学会議、参天製薬の資料を基に作成)

網膜疾患

国内の眼科用剤は2011年度で市場規模が約2550億円(薬価ベース)で、年平均約3%程度の成長を続けている。主な内訳は、緑内障が約9

20億円でナンバワ1位。次いでドライアイが約350億円。ただ、市場をけん引しているのは網膜領域の疾患だ。この伸びが眼科用剤市場の成長をけん引している。

加齢黄斑変性に新薬

視力改善や患者の負担軽減

加齢黄斑変性 08年から新薬が続けて発売され、治療満足度が向上すると期待される。加齢黄斑変性は、加齢によって起きる病気で、症状は、視界の中心が暗くなったり欠けたりする、視力が低下する、視界がゆがんで見えるといったもので、失明

万人。未治療の患者が多く、治療している患者は約4万人とされる。加齢黄斑変性は、加齢によって起きる病気で、症状は、視界の中心が暗くなったり欠けたりする、視力が低下する、視界がゆがんで見えるといったもので、失明

かけることで病気を治そうという技術を使った医薬品。これまでの低分子薬や、免疫機構を使った抗体医薬に続く新たな創薬技術とされている。ノバルティスファーマが09年に発売した「ルセ」は、治療の第一選択薬となっている。投与は月1回が原則。だ

が、薬価が1バイアル当たり17万6355円と高価なため、患者の経済的負担が大きい。医療機関側も毎月行われる眼科への注射の負担がある。バイエル薬品と参天製薬が12年に発売した「アイリール」は、薬価が1バイアル当たり15万9289円。ただ、通常1カ月に1回の投与で既存薬と同等の効果を発揮するの、患者の経済的負担が軽減されるとの期待が大きい。

抗VEGF剤によって視力の改善が期待できるなど、治療が変わってきた。ただ、対症療法であるため根治はできず、継続して投与しないといけない。根治に向けて、12年にノベル生理学医学賞を受賞して話題になった京都大学山中伸弥教授が生み出したiPS細胞(万能細胞)を使っ

て、網膜色素上皮を人工的に作るという再生医療による試みも進んでいる。

中枢神経系疾患領域の中ではうつ病、不眠症、アルコール依存症といった疾患領域の国内市場が拡大している。

富士経済の調べによると、抗うつ剤、不眠症治療剤、統合失調症治療剤といった中枢神経領域治療剤(認知症治療剤を除く)市場は、2011年で5143億円だった。前年比では7.3%増。景気低迷による社会情勢の厳しさと、疾患啓発の高まりにより精神疾患で医療機関にかかる人口が増加していることなどが成長の背景にある。特に抗うつ剤や統合失調症治療剤の成長が市場拡大のけん引役になっている。

中期的にもこれらの薬剤が成長し、20年の市場



不眠症治療剤のロゼレム

治療剤市場 拡大続く

アルコール依存症 新薬登場

日本では不眠症に悩む人は潜在患者を含めて4人から5人に1人と推定され、問題視されている。そのうち、不眠症治療剤の服用者は700万1800万人と少ない。疼痛

やがんなどのほか、精神疾患の患者に多い。うつ病の患者は8割が不眠症とされ、因果関係も深いと見られている。治療の重要性を唱えることが必要だ。

不眠症治療剤の国内市場規模は10年に約830億円、毎年成長している。エーザイは寝付けにくい入眠障害や、途中で起きてしまう中途覚醒に有効な「ルネスタ」を12年に発売した。そのほかアステラス製薬とサノファイが共同販促する「マイスリー」や、武田薬品工業の「ロゼレム」など、競合が多い。

アルコール依存症の新薬は、日本新薬はアルコール依存症患者の断酒維持補助剤の製造販売承認を厚生労働省に申請中で、13年3月にも承認される見通しだ。「レグデクト」の商品名で、5月の発売を見込む。欧米など約30カ国ですでに販売されており、日本では10年に同社が厚労省から要請を受け開発を進めてきた。

同剤は中枢神経系に作用し、アルコール依存によるグルタミン酸作用性神経の興奮状態を抑えることでアルコール依存症

患者の飲酒に対する欲求を抑制する。服用後に飲酒すると吐き気や頭痛などを引き起こして断酒につながる従来の抗酒薬とは異なる作用機序を持つ点が注目される。

医薬品特集



くすりの中に私がいます。

新薬が世に出るまで、10年以上。
病気はそれまで待ってくれない。

中外製薬は、グローバル・ネットワークを活用し
新薬開発のスピード化をすすめています。

人生の大切な時間にくすりが間にあうように。

CHUGAI 中外製薬

Roche ロシュグループ

http://www.chugai-pharm.co.jp/



様々な病気に打ち勝つため、
ファイザーは世界中で
新薬の研究開発に取り組んでいます。
画期的な新薬の創出に加え、
特許が切れた後も大切に
長く使われている
エスタブリッシュ医薬品を
医療の現場にお届けしています。



Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

ファイザー株式会社 www.pfizer.co.jp